（山村活性化支援交付金）地域資源（竹）を活用した商品開発と販売促進　【愛知県岡崎市（旧額田町）】

（おかざき　ぬかた）

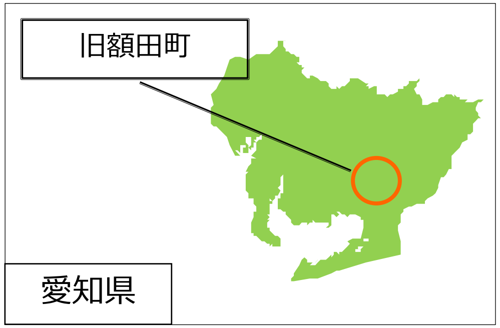
取組のポイント

◆市内の竹を活用することにより、放置竹林を解消し、地域の環境・景観を改善することで、まちづくり活動の活性化や地域経済の循環を目指す「オクオカ竹プロジェクト」事業

◆荒廃した竹林を整備しながら、竹炭を餌に添加して育てたブランド豚、タケノコの加工食品、土壌改良材等の新商品を開発し、竹の新たな価値を生み出すことで、国土保全や地域経済に貢献

地区の概要

◆ 位置
愛知県岡崎市（旧額田町）



◆ 活用した地域資源
竹

◆ 事業実施主体
岡崎市

◆ 主な取組団体等
オクオカ竹資源活用協議会 等

◆ 事業実施期間
R4～R6

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

◆地域内の竹林賦存状況調査を実施し、竹林の分布状況図を作成

◆竹炭を餌に添加して育てたブランド豚「岡崎竹千代ポーク」を開発

【竹林分布状況図】

【岡崎竹千代ポーク】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

◆商品の販売促進及び竹林整備ボランティア募集を実施するＨＰを開設

◆販路拡大に向け、展示会への出展、広報誌及び報道媒体でのプロモーション活動を実施

【プロジェクトHPの開設】

【展示会の参加】
（SDGs AICHI EXPO）

取組の成果

◆竹資源商品・コンテンツ数　９個（岡崎竹千代ポーク、かぐや姫、バイオ竹炭 等）

◆竹資源販売額　2,000千円（R3実績）　→　8,700千円（R6実績）※対前比435%

◆竹資源を新たに活用しようとする人　０人　→　６人（オクオカ竹資源活用協議会）